

# 就職活動のための準備

就職活動を行う時期により変化する雇用環境の良し悪しは、就職活動の成否に多かれ少なかれ影響を及ぼします。しかしどんな環境下であっても、「短時間で就職できる人」と「活動が長期にわたってしまう人」に結果は分かれます。もちろん様々な要因はありますが、短期で希望の就職先に採用を得られる人たちは、短期間であっても可能な限り万全の準備を行っていると言えます。加えて情報量とやる気も備わっている傾向が見られます。

また、複数の企業に対して同時に応募し以下に示した図の「応募準備」から「内定後の判断」までのステップを同時並行して行っており、常に何らかの求人に応募して結果を待っている状態を活動終了時まで続けて行くという行動パターンを取り続けた人です。

就職の成功には多様な活動が求められます。

## 【就職を決める活動のステップ】

